（研究機関の名称：広島市立広島市民病院）

現在、当院整形外科で実施している研究へご協力のお願い

１．研究課題名

定量的術前 MRI 指標による前十字靭帯修復術適応の予測モデル：診断コホート研究

２．対象となる方

2018 年 1 月～2025 年 12 月に当院整形外科で、膝の前十字靭帯（ぜんじゅうじじんたい）損傷に対して関節鏡を用いた手術（修復術または再建術）を受けられた患者さん

３．研究の目的

膝の前十字靭帯が切れた場合の手術には、切れた靭帯を縫い寄せて温存する「修復術」と、他の腱を移植する「再建術」があります。修復術は自分の靭帯を残せる利点がありますが、修復できる状態かどうかは、これまで手術中に関節鏡で見て初めて判断されてきました。この研究は、手術前に撮影した膝の MRI 画像から得られる数値（靭帯が切れている位置の割合、脛骨（けいこつ）側に残った靭帯の長さ、線維のつながり具合）を用いて、修復術が可能な状態かどうかを手術前に予測できるかどうかを明らかにし、これまで用いられてきた画像分類法と比べてどの程度正確かを検討することを目的としています。手術前に予測ができるようになれば、患者さんへの説明がより正確になり、手術の準備や治療方針の決定にも役立つと考えられます。

４．研究期間

2026 年 10 月（倫理審査委員会承認後）～2028 年 3 月 31 日（予定）

５．研究に使用する情報の種類

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、受傷日、手術日、診断名、受傷したときの状況、既往歴、手術の内容、手術前に撮影した MRI 画像および画像から計測した数値、手術中の関節鏡の画像・動画および所見、半月板・軟骨などの合併した損傷の有無　等

６．研究組織

当院のみでの研究になります。

７．研究責任者

広島市立広島市民病院　整形外科　医師　橋口　直史

８．お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒７３０－８５１８　広島市中区基町７番３３号

電話　（０８２）２２１－２２９１（代表）

広島市立広島市民病院看護部

（担当）整形外科　橋口　直史